

[解答]

問題文をよく読んでみる。 $\delta^{18}\text{O}$ が小さくなるのは「 ^{18}O が少ない」または「 ^{16}O が多い」である。

蒸発によって ^{16}O が増えるのであるから、蒸発によってできる「天水」は「 $\delta^{18}\text{O}$ が小さくなる」(ア)。これは高度が増すほどにこの傾向が増すのであるから、「 $\delta^{18}\text{O}$ は山間部で小さくなる」(イ)。氷期は全般に気温が低く、間氷期は氷期の中の気温が高い期間であるから、氷として固定して海に戻れなくなるのは、「氷期」である(ウ)。最後に、放散虫も有孔虫も主に意味に産するが、放散虫はケイ酸質の殻をもち、有孔虫は石灰質の殻をもち、従って、炭酸カルシウム殻をもつのは「有孔虫」である(エ)。

[ポイント]

割とよく出てくるテーマのようですが、問題文を読むと、知識がなくてもア、イは解くことができます。ただし、多い、小さいの関係が少し複雑なのでメモをとって確かめるとよいでしょう。また、ウも簡単な知識であり、ここまですべて正解が出てきます。最後のエの知識だけがちょっと細かいですが、これは知らなくても問題ありません。